

アンサンブル・ノマド 第74回定期演奏会



中心無き世界 **Vol.3**

～人びとの^{あしおと}躰～

2022

1/30 **Sun.**

東京オペラシティ リサイタルホール

13:30開場 14:00開演

※発熱や咳など、体調不良の症状がある方や、マスクを着用されていない方はご入場いただけません。詳細は下記団体WEBサイトをご覧ください。

プログラム

- J.ボディ：ロン・ゲー (1987)
Jack Body: Long-Ge
- 福士則夫：円圏の庭 (2018/2021)
Norio Fukushi: Jardin d'EN-KEN
- J.マルコフ：ブルガリアの旅 (2021) 荒木田隆子基金委嘱 ～世界初演
Jordan Markov: A Journey to Bulgaria
- 佐原詩音：アルゴリズム (2019/2020)
Shion Sahara: algorithm
- M.ソカイテ：太陽 (2021) ～世界初演
Monika Sokaite: The Sun
- H.バスケス：天狗の森 (2020) 荒木田隆子基金委嘱 ～世界初演
Hebert Vázquez: El bosque del tengu
- M.ドリノヴァ／K.マラカ (編)：チャルダッシュ (2002)
Milena Dolinova (arr: Krystof Maratka): Čardáš

※新型コロナウイルス感染症の影響により出演者、及びプログラムの一部が変更になる可能性があります。予めご了承下さい。

出演者 Ensemble NOMAD

佐藤紀雄 (gt/cond) 木ノ脇道元 (fl)
菊地秀夫 (cl) 野口千代光・花田和加子 (vn)
甲斐史子 (va) 菊地知也 (vc) 佐藤洋嗣 (cb)
稲垣 聡 (pf) 宮本典子 (perc)

Guests

ヨルダン・マルコフ (gadjulka) シドレ (vn)
本條秀慈郎 (三味線) 木村麻耶 (箏)
黒田鈴尊 (尺八) 岡本和也 (gt)

チケット

11月9日(火)
発売予定

【前売】

一般 ¥3,000
大学生 ¥2,000
高校生以下 ¥1,000

【当日】

一般 ¥3,500
大学生 ¥2,500
高校生以下 ¥1,500

(就学前のお子様の同伴・ご来場はご遠慮下さい)

チケット取り扱い

東京オペラシティチケットセンター
Tel: 03-5353-9999

アンサンブル・ノマド ウェブサイト
<http://www.ensemble-nomad.com/>

お問い合わせ

キーノート

Tel: 0422-44-1165

keynote_music@fol.hi-ho.ne.jp

主催／一般社団法人 アンサンブル・ノマド <http://www.ensemble-nomad.com/>

助成／公益財団法人 ロームミュージックファンデーション NOMURA FOUNDATION 公益財団法人 花王 芸術・科学財団

公益財団法人 朝日新聞文化財団

アンサンブル・ノマド 第74回定期演奏会



中心無き世界 Vol.3 ~人びとの^{あしおと}躰~

Ensemble NOMAD

1997年、ギタリスト佐藤紀雄の呼びかけによって集まった、無類の個性豊かな演奏家によって結成されたアンサンブル。「NOMAD」(遊牧、漂流)の名にふさわしく、時代やジャンルを超えた幅広いレパートリーを自在に採り上げ、斬新なアイデアやテーマによるプログラムによって独自の世界を表現するアンサンブルとして内外から注目されてきた。2002年度に行った定期演奏会「ケージとメシアンの間で交わす自然と宇宙に関する往復書簡」は大きな反響をよび、サントリー音楽財団「第2回佐治敬三賞」を、2014年度に行った定期演奏会「再生へVol.3: 祈り〜エストニアから震災復興を祈るコンサート」により「第3回ウィーン・フィル&サントリー音楽復興祈念賞」を受賞した。海外からの招待も多く、2000年オランダの「ガウデアムス音楽週間」、2003年ベネズエラで行なわれた「フェスティバル・アテンポ」、2005年11月パリで行われた「フェスティバル・アテンポ」およびイギリスの「ハダースフィールド現代音楽祭」、2007年にはメキシコの「モレリア音楽祭」、また2008年10月にはソウルでの「パン・ムジーク・フェスティヴァル」などに出演。2009年秋には、中国の北京首都師範大学、北京中央音楽学院、四川音楽学院で中国人作品を中心としたプログラムの公演を行ない、好評を博した。2011年には2度目の韓国公演を開催。2013年7月にはエストニアとオランダで公演を開催。2014年にはメキシコのセルバンティーノ音楽祭に日本を代表するアンサンブルの1つとして招聘された。2015年12月に再び中国四川公演を行い、今後も中国、オランダやフランス、メキシコなどでの公演を予定している。

また、近年ではアウトリーチ活動にも積極的に取り組み、保育所、病院、小学校、特別支援学校等で訪問コンサートやワークショップを行なっている。

CDは、近藤 譲「梔子」(ALCD-47)、「空の眺め」(ALCD-57)、「オリエント・オリエンテーション」(ALCD-67)、「表面・奥行き・色彩」(ALCD-93)、石田秀実「神聖な杜の湿り気を運ぶもの」(ALCD-60)、池辺晋一郎「炎の資格」(CMCD-28121)、福士則夫「花降る森」(CMCD-28128)が発売されている他、藤倉 大の「Turtle Totem」、「Diamond Dust」、「Glorious Clouds」にもライブ録音が収録されている。海外では2011年秋にエベルト・バスケスの「Bestiario(動物寓話集)」、2015年秋に「Pruebas de vida(生命の証)」がリリースされている。2014年にはオリジナル・アルバム「巡る—Meguru」を発売。2105年夏から秋にかけて発売された「現代中国の作曲家たち」シリーズは、レコード芸術誌の特選盤や朝日新聞の「for your collection」推薦盤に選ばれている。

公式ウェブサイト: www.ensemble-nomad.com/

「全ての音楽は民族音楽だ」と言われる。絶対音楽の代表のようなバッハでさえ民族のダンスのリズムや歌が入り込んでいる。以来作曲家たちは周囲から聞こえる人々の歌やリズムに耳を傾け自然に作品に忍び込ませてきた。一方各地の伝統的な音楽も西洋音楽の主に和声を取り込み、演奏の幅を広げパレットを豊かにしてきた。今回の定期では世界各地で暮らす人々の日常の躰(あしおと)に耳をかたむけるプログラムをつくってみた。

佐藤 紀雄

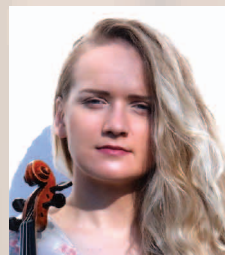
Ensemble NOMAD

佐藤紀雄(gt/cond) 木ノ脇道元(fl) 菊地秀夫(cl)
野口千代光・花田和加子(vn) 甲斐史子(va) 菊地知也(vc)
佐藤洋嗣(cb) 稲垣 聡(pf) 宮本典子(perc)

Guests



ヨルダン・マルコフ
(gadulka)



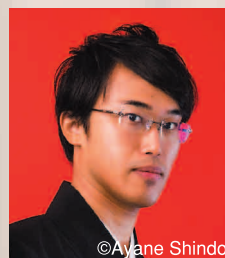
ジドレ (vn)



本條秀慈郎 (三味線)



木村麻耶 (箏)



黒田鈴尊 (尺八)



岡本和也 (gt)



東京都新宿区西新宿3-20-2 東京オペラシティB1F Tel: 03-5353-0788
京王新線「初台駅」東口下車徒歩3分

表写真: 木村麻耶 ©MIKAGE、黒田鈴尊 ©Ayane Shindo
アンサンブル・ノマド ©Maki Takagi